

科目名	日本史B		履修学年	第3学年	
			履修形態	必修	
			履修単位	4単位	
使用教科書 (出版社)	新選日本史B (東京書籍)				
使用教材 (出版社)	日本史のアーカイブ (東京法令出版)				
学習の目標					
<p>我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色について認識を深めるとともに、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。</p>					
教科担当者から					
<p>日本史Bでは、前近代(原始～江戸時代)の歴史を中心に学習します。我が国の歴史を広く深く学んでいくこととなりますが、近畿地方や九州地方だけでなく、私たちが住んでいる北海道(蝦夷地)の歴史や先人たちの生活の様子にも目を向けます。「歴史を積み上げてきた人々の生き方を参考にして、未来を自分の手で切り拓く」という意識を持って授業に臨んで欲しいと考えています。現代の視点から歴史の因果関係を客観的にひもとく力は、今後の未来を作る私たちにも必要な力です。先人たちがそのとき何を考え、どのように感じ、どうしてきたのか想像しながら学んでいきましょう。</p>					
評価の観点・方法・割合					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解	
規準	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。	
方法	※ ◎は観点の中でより重視するところです。				
観察	◎				
ノート	◎	○			
課題	○	○	◎	○	
小テスト		◎		○	
考査		○	○	◎	
割合	10%	20%	20%	50%	
評価の基準 ※ 満点を100点としたとき					
5	4	3	2	1	
85%程度以上	70%程度以上	45%程度以上	30%程度以上	30%程度未満	

学習内容								
学期	月	単元名/学習内容	学習のねらい	評価の観点				時間
				関	思	資	知	
前期	4～6	第1章 古代国家の形成と古代文化 1. 原始社会の生活と文化 2. 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 3. 律令国家の形成と古代文化の展開 4. 摂関政治と文化の和様化 (含：前期中間考査)	原始社会の人々の生活の変化、大和朝廷による統一、律令に基づく古代国家の成立と推移及び文化の形成について、理解するとともに説明できるようにする。	○	○	○	○	8 7 7 8
	6～8	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1. 中世社会の成立 2. 武家社会の形成と東アジア	武家社会の成立から戦国大名の時代に至る武家社会の進展と文化の展開について、東アジアの動向と関連付けて理解する。	○	○	○	○	7 7
	8～9	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1. ヨーロッパ文化との接触と国内統一 2. 幕藩体制の成立 (含：前期期末考査)	織田・豊臣政権や江戸幕府による幕藩体制の成立過程について、ヨーロッパ世界との接触や鎖国などの対外関係と関連付けて理解する。	○	○	○	○	8 8
後期	10	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 3. 近世社会の発達と町人文化 4. 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達		○	○	○	○	8 8
	11～1	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 1. 開国から明治維新へ 2. 立憲政治の形成と国民文化 3. 日本の近代化と東アジア 4. デモクラシーと第一次世界大戦 5. 激動する世界と日本 (含：後期中間考査)	開国から江戸幕府の滅亡、明治政府の成立からの我が国の近代化のあゆみについて、アジアや欧米諸国との関係の推移と関連付けて理解する。また、近代産業の発展と国民生活の向上、学問の発展と教育制度の拡大など総合的に理解する。第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について、世界情勢や国内の動きと関連付けて理解する。	○	○	○	○	8 8 7 7 7
	1	第5章 現代の世界と日本 1. 占領と国内改革 2. 国際社会への復帰と高度経済成長 3. 石油危機と低成長の時代 4. 新しい国際秩序と日本の課題 (含：学年末考査)	第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について、世界の動向と関連付けて理解するとともに、我が国の課題や役割について考察し、説明できるようにする。	○	○	○	○	3 2 1 1
								120